

# 1. このマニュアルのねらい

このマニュアルは、福祉用具の安全利用を推進することを目的としたものです。平成18年度・19年度そして21年度に収集された約400件の事故やヒヤリ・ハット事例をもとに、特に安全性確保の観点から福祉用具の「アセスメント・選定」「導入・利用指導」「導入後のフォロー・モニタリング」の各段階における留意事項や、具体的な事例をご紹介します。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

## 事故、ヒヤリ・ハット事例の分析

実際の業務において情報源として活用していただくため、はじめに、事例の分析結果の中から、主なデータを示しています。

特に、報告件数の多かった「車いすおよび付属品」、「特殊寝台および付属品」、「歩行器・手すり」については、発生状況や原因について比較しました。また、事後の対策の実施状況についてもご紹介しています。

## 安全利用のための留意点

事例とともに寄せられた「アセスメント・選定」「導入・利用指導」「導入後のフォロー・モニタリング」の3つの段階における具体的な課題や改善点などに基づいて、各段階の業務を実施する中で、配慮すべき安全利用のための留意点を用具別に整理しました。

## 具体的な事故、ヒヤリ・ハット事例

ヒアリング調査によって収集した事例の中から、9つの事例を取り上げて、導入、事故の発生、事後の対応、防止対策の状況を具体的に示し、事故を防止するためのヒントや、適切な事故後の対応など、安全利用のためのポイントを整理しています。